

第4回 奈良市「持続可能な観光」検討懇話会	
開催日時	令和6年2月26日（月）午後2時から午後4時まで
開催場所	奈良市役所北棟2階 202会議室
参加者	青木 真郎 [(一社) サステナビリティ・コーディネーター協会] 澤柳 正子 [(株) リクルート ジャらんリサーチセンター] 下谷 幸司 [奈良市旅館・ホテル組合] 高橋 一 [(公社) 奈良市観光協会] 原田 隆太 [奈良ホテル] 二神 真美 [名城大学] 本保 芳明 [国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所] 峯川 郁朗 [奈良商工会議所] 大和 里美 [奈良県立大学] オンライン参加 ※50音順、敬称略
担当課	観光経済部観光戦略課
開催形態	(非公開の理由) 情報公開条例第7条第3号
	具体的な非公開の理由等 企業の経営等に関わる情報もあることから、公にすることにより利益を害する可能性があるため。また、率直な意見交換が妨げられる可能性があるため。
意見を求める内容	持続可能な観光地の実現のための具体的な取組や仕組みについて
概要	<b>【主な意見】</b> ・奈良市のなりたい姿や観光ビジョンについて、いろいろなステークホルダーと議論したうえで、ロードマップを作っていくことが重要である。 ・アクションプランの取組を、いつまでに達成するのかということを、短期、中期、長期で明確にすることが必要である。 ・実施する取組は、will、can、must の3つの視点で整理すればよい。 ・鹿と大仏に頼った奈良市の観光を変えようとするのであれば、ステークホルダーでコミュニティを構築して、目標を作り、期限を切って、本気で取り組まないと実現しない。 ・ブランド構築には時間を要するので、リーダーシップをとれる方々が定期的、継続的に議論を行うことが重要である。 ・観光客の満足度では接客サービスが重要視されているので、考慮したうえで、満足度調査を設計、実施することが大切になる。 ・地域として持続可能な観光地としての知名度を上げる取組を行うので、その中の事業者も CO2 削減等に取り組めばメリットがあるという、事業者を奮い立たせるようなストーリーが必要である。